

N.Y. 2

評論

皇國の道 (三)

一戸謙三

「に對する觀念を具體的に
 神を明瞭に
 神が肝心である。四柱の神に
 りわれわれの身はたちまちに清
 められるといふメタフィジカルな
 觀念を神に疎遠すること—それ
 がやがてすめらといふ「醒なる」
 形容詞をも感得し理解する道とな
 るだらう。

道にわれわれを醒れることから
 防ぐのである。
 皇國の民が一日にする行儀では
 何が大切であるか、一年にする行
 儀では何が主なるものであるか。そ
 して一生に於ける行儀で最も重要
 なものは何々であるか。
 その點にわれわれはどんな風に
 してそれを過すか。すなはちどん
 な道を経てゆくかを、とくと考へ
 てみるべきである。
 また、神皇關係に於いては、最

善とされてゐる道はど
 うであらうか。これらのことを反省
 してみるべきであらう。さうして
 今ではもう説明のつかない無駄だ
 と思はれてゐるところにこそ皇國
 の道がのこつてゐる。
 大体ムダであるとは元來功利的
 な物質的な考へ方である。例へば
 年買財を出すのはムダであるから
 廢止せよ。秋餅は經濟更張の
 ために廢止せよ—といふこと
 を、日本精神だの國民精神運動員
 運動だのと、いやしくも精神的な
 運動をしたりする口から云つたり
 するやうな指導者の精神そのもの
 が疑はれる。
 年買とは、これ悠久なむかしか
 らの立派な皇國の道のひとつであ
 る。だからそれが商賣化されて廣
 告代りになつたり、または政治屋
 の一票釣りのムダを生じたのを廢
 止せしむるのはよろしいが、その

却してしまつた指導者たち。
 餅は金がかゝるから、と精神を
 物質によつて秩序づけようとする
 ことが行はれるやうでは、わけが
 わからない。餅とは皇國の道によ
 ればわれわれ、精神、象徵化した
 ものであつたものかも知れない。
 のちと同じであつたのかも知れな
 い。精神を古代ではたまと稱して
 のありかがころであつた。たま
 の活動はこれたまたまである。秋
 餅を廢止するとはそのたまを長上
 へ差し上げる行儀を止めてもよろ
 しいといふことだ。
 つまり秋餅を廢止しようとは個
 人中心主義にならうといふのと同
 じことなのである。いやそんな
 ことはない、と云つたところで精
 神的な傳承行事をとり止めること
 は、即ち物質面であつてよろしい
 といふことになる。

されてよろしい、物質また國民たち
 がそのやうな事を廢止するのを何
 とも思はない位になれば、正にそ
 のやうになつてゆく。
 ★
 皇國の道に則る、とは、かくて
 すめらみくろのみちを則ること
 ある。
 神聖なる日本メタフィジカの
 復興によつて教師の精神を、全体
 から分節してあらしめよ、と云ふ
 にある。すめらみくろのみちとはわ
 れわれのたますべてとつながつて
 最上位に用られ、さうして皇祖神
 のみたまなるすめらぎをもまた承
 けもつて用られるからこそ尊嚴と
 なるのだ。
 われわれのたましひを秩序つけ
 てるのが即ちみちなのである。
 全体主義などと稱する或る種々の
 神聖のたまをあらはるには、

「民族を一体化し、それからグ
 リーデンマンの略するのだ」と理
 論つけてはじめて精神統制をせよ
 る國とは根本的に相違してゐるの
 を忘れてはならない。
 たり、それを古典迷信をもち出
 したり、または壯大空白なる八紘
 一宇といふ支那風な體面をかへけ
 たり、または全体主義などまた
 ぞろ西洋文化崇拝をはじめたりす
 るのをそのまゝのみこんで國民
 啓蒙を實踐したならば、やがて皇
 國の道に反するやうになるであ
 らう。
 だがしかし、おまへの言ふこと
 ろもまた甚だ古代崇拜に墮してゐ
 る—と評されるかも知れない。さ
 れば、再説、三説をつづけてみた
 らう。
 皇國のたまをあらはるには、

のだからその評

事新く折らぬ

いとはまはらう。われわれの皇國

昭和十五年
田植休みの日

いとやうに

考へ入てゐる

のこは

ある

ゲル

1.25

評論

皇國の道(一)

戸謙三

XV. 625 488

皇國の道は現世の生活を秩序づけてあるところから見つけ出すべきである。...

何が大切であるか。一年にする行實では何が主なるものであるか。...

運動をしたりする口から云つたりするやうな指導者の特殊なものがある。...

差し上げる行軍を止めてもよろしいといふことだ。...

われわれのたゞしひを秩序づけたい。...

だがしかし、おまへの言ふところもまた古代崇拜に隨してある。...

皇國の道は現世の生活を秩序づけてあるところから見つけ出すべきである。...

その根本をなすものである。...

巨大な影響が、これまでの教師たちの行手に立ちよさがつてゐるやうな気がすることであらう。...

花田哲幸氏なども、あ一人であつたことは「南無観音」の先例に載せてある氏の感を見ればよくわかる。...

日本精神へ返れといふ叫びにうながされて、儒學を研究したり座談を試みたりしたお方がこれまでにたくさんあつた。...

その指導者の概観は、何か大主君めいたものを感じさせるものがあつた。...

道といふ語もさうならぬ。...

戸謙三

教育者として知られるならば、これとて小学校教師といふさかちがひはなくなる。...

これを「皇國の道」といふならば、一言いふならば、皇國の道といふものは、現世の生活を秩序づけてあるところから見つけ出すべきである。...

大いなる、巨大な影響が、これまでの教師たちの行手に立ちよさがつてゐるやうな気がすることであらう。...

認定したものである。しかし、心の中、まアこの位のことである。...

上へ登るからうとすでに眼にその官位が近づきつゝあるのだから、各人それぞれに「皇國の道」といふものを、それぞれに持つべきである。...

それが共に、何かに歸するものも感じさせられるやうだ。...

二千六百年以前の遠い昔から、皇國の道といふものは、現世の生活を秩序づけてあるところから見つけ出すべきである。...

何が大切であるか。一年にする行實では何が主なるものであるか。...

その間にわれわれはどんな風に生きてそれを過すか。...

運動をしたりする口から云つたりするやうな指導者の特殊なものがある。...

差し上げる行軍を止めてもよろしいといふことだ。...

われわれのたゞしひを秩序づけたい。...

だがしかし、おまへの言ふところもまた古代崇拜に隨してある。...

皇國の道は現世の生活を秩序づけてあるところから見つけ出すべきである。...